

探し物が  
見つかる

# やまがた暮らー

【移住支援編】

朝日町に「ふるさと」を見つけました！

今年4月から東京・有楽町の「ふるさと回帰支援センター」内に移住相談窓口を設置した山形県の移住・定住支援はさらにパワーアップ。移住者が続々と増えている朝日町に居を移した夫妻に町の魅力を語ってもらつた。

神奈川県川崎市から  
2015年5月に移住

唐木俊彦さん(70歳)  
恵子さん(62歳)

自然食のレストランから始まり、36年間にわたって夫妻で飲食店を経営。昨年9月、東京で開催された「ふるさと回帰フェア」で田舎体験ツアーの情報を入手したことが移住への足掛かりとなった。

今年5月に神奈川県から朝日町に移り住んだ唐木さん夫妻。昨年11月に県が主催の同町を訪問する田舎体験ツアーに参加してから、わずか半年ほどで移住を決行した。天童市出身の恵子さんにとって朝日町は「幼いころの故郷の風景が今も変わらず残っているような町」だった。先の震災以降、漠然と「ふるさと」という言葉が田舎で暮らしたいと思っていたが、朝日町は雪国。厳しい冬を体験してみた

いことには移住は決められない。そこで1月に夫妻で再訪、役場の担当者から空き家を紹介してもらい、さらに3月、空き家の所有者の好意もあって、その家に2泊滞在することに。4月に空き家を購入する前にもう1回、契約までに計4回在したときはツアーで知り合った移住者の方の家に泊めてもらつたりと、地元の人や移住された人たちとも語り合えたのがよかったです。朝日町の環境だけではなく、暮らしている人がとても魅力的なんです。そこに惹

かれました」と恵子さん。寒いところが苦手だったといふ俊彦さんも思いは同じ。「うまい地酒と食材の豊富さも素晴らしい!」と言う俊彦さんは料理人である。36年間にわたつて2人で飲食店を経営してきた経験を活かし、自家の離れを改裝してカフェを開く計画も。町の特産でもあるリンゴの木をチップにつくる俊彦さん自慢の焼製も登場するかもしれない。

アクセス  
JR左沢線左沢駅から路線バスで約30分。山形自動車道寒河江ICから車で30~40分。



山形県が  
あなたの移住実現  
を応援します。

ネットが使えない人に朗報  
物件探しをサポート

山形県庁の移住相談窓口「すまいる山形暮らし案内所」では、県内2つの不動産業団体と協定を結び、住宅情報を提供している。住宅を探している移住希望者は住みたい市町村、賃貸か購入かなど諸々の条件を指定の用紙に記入・送付すると、それに合致する物件を紹介してくれるという全県域を網羅するシステムだ。

市町村の空き家バンクと  
リフォーム費助成制度も

空き家バンクを開設し、住宅情報を提供している市町村も多い。さらに県では購入または賃借した家の改修に助成を行っている。耐震改修やバリアフリー化、省エネ化、克雪化など助成対象工事が指定されているため、事前に問い合わせを。



朝日町の空き家。  
K、賃貸応相談(売却  
前提)、売買260万円。  
トイレ水洗。

## NEWS!



移住コンシェルジュの伊藤さん(左)と  
山形県庁の移住担当の清野雄太さん。



窓口では伊藤さんがマンツーマンで対応。県内各市町村の各種パンフレットなども取り揃えている。



東京・有楽町の東京交通会館内にある「ふるさと回帰支援センター」。5階は東日本エリア、6階は西日本エリアの自治体が窓口を設置している。

東京・有楽町に  
やまがたハッピー  
ライフ情報センター  
がオープン!  
就職相談にも対応

東京・永田町の都道府県会館に  
あった移住相談窓口が今年4月、  
東京・有楽町の「ふるさと回  
帰支援センター」内に移転した。  
アクセスが便利になつたうえ、  
火・木・土曜は就職情報提供  
している「山形県Uターン情報  
センター」のスタッフも窓口で  
対応しているため、地域情報と  
就職相談、双方を網羅するワン  
ストップ窓口「やまがたハッピ  
ライフ情報センター」として  
再スタートしたのだ。移住コン

シェルジュの伊藤義さん(63歳)  
が引き続き移住相談に乗り、各  
市町村の支援制度やイベントな  
どの情報を提供している。  
「漠然と山形はどんなところ?  
という、相談も大歓迎です。ど  
んな地域に暮らしたいのか、希  
望する生活スタイルや仕事、家  
族構成などさまざまな条件をお  
話ください。一緒に理想の移  
住先を見つけましょう」

山形県出身の伊藤さんならでは  
の地元情報も要チェックだ。

毎月開催! 山形の今がわかる連続セミナー

### やまがたハッピーライフカフエ

県内4エリアごとに移住情報を発信!  
第2回 遊佐町から日本海の魅力などを紹介  
(予定)  
6月27日(土) 17:00~19:00

山形県では今年度、「やまがたハッピーライフカフエ」と題して計10回、山形暮らしセミナーを開催する。県主催以外に、庄内・最上・村山・置賜地域の県内4エリアごとに先輩移住者の講演会などを企画するため、各エリアの地域性も把握できるのが特徴だ。第1回は5月に開催され、6月27日に第2回が予定されている。詳しくはお問い合わせを。

今後の開催予定: 7月12日(日)、8月2日(日)、9月6日(日)

会場はこちら

### やまがたハッピーライフ情報センター

場所: 東京都千代田区有楽町2-10-1  
アクセス: JR有楽町駅隣、東京交通会館5階  
(認定NPO法人、ふるさと回帰支援センター内)

**03-6269-9533**

FAX03-6269-9534

e-mail:yamagata-iju@royal.ocn.ne.jp

受け付け時間:

火曜~金曜12:00~18:00、土曜10:00~18:00



JR有楽町駅・有楽町線有楽町駅地下直結D8出口

ご相談はこちらにもどうぞ!  
すまいる山形暮らし案内所  
(山形県市町村課内)

〒990-8570 山形県山形市松波2-8-1

**023-630-3083**

FAX023-630-2130

e-mail:yshichoson@pref.yamagata.jp

山形暮らし 検索

<http://www.pref.yamagata.jp/ylife/>

滔々と流れる最上川、南西部に展開する朝日連峰など自然豊かな朝日町。リンゴやワインの産地としても知られ、移住者が多い地域もある。空き家バンクや定住助成事業も充実。



神奈川県川崎市で経営していたダイニングバー「唐木亭」。今は息子さんが店を継いでいる。



昨年11月に開かれた朝日町でのツアーではリンゴの収穫体験や移住者との交流会も開かれた。



唐木さん夫妻が購入した最上川の近くにある空き家。修繕には町の助成事業を活用した。



ツアー参加者が唐木亭に集まり、夫妻の移住を祝った。「また朝日町に遊びに行くよ」とみなさん。

